

第2期阪神北地域ビジョン委員会だより 一第3号一

夢しやーなる

平成16年(2004年)6月

発行：阪神北地域ビジョン委員会
編集：阪神北地域ビジョン委員会広報部会



おすまめ
散策ルート

- 道標
1. 右中山
左三田
 2. 右さ
左の
 3. 右西
左の

- 石碑
1. 谷屋岩五郎墓
 2. 三界万霊塔
 3. 徳本上人碑
 4. 西村則扇墓

題字：早野 邑水

第四分野 夢会議

三月二十九日 ソリオII宝塚商工会議所会議室

おすすめ「散策ルート」発掘

各地域より、地元ならではの「散策ルート」を発表後、地場産品やお土産品等の展示と試食もしました。時間が足りないほど内容豊富でした。



▲「おすすめ散策ルート」製作風景



▲さあ！夢会議のスタートです

最初に宝塚市、川西市、三田市、猪名川町のロケ地探索ビデオを見ました。それは第一期より引き継いだ「宝塚・北阪神ロケーションサービス」の発表で、映画等のロケ地誘致を目的に製作されたビデオです。

いよいよ本題に入り、模造紙上に書かれた略図と写真の前での説明です。

一、「タカラジェンヌ」コース

JR・阪急宝塚駅を出発し、ソリオ、セルカ内の紹介、花の道を通って手塚治虫記念館、宝塚大橋を渡ってサンピオラ、大正時代の建物を残す宝塚ホテル、ホテル若水、S字にカーブする宝来橋を渡ってワシントンホテルまで、タカラジェンヌにも出会えるオシャヤレで宝塚らしい一・八キロの市街地コースです。

(池田 則夫)

二、最明寺川流域コース

阪急山本駅から北方向へ散策する、近くて自然の風景と歴史文化を楽しめる約二時間弱のおすすめコースです。「願勝寺」「宝教寺」「七星堂」「不動明王」、摂津名所図会に記されている北条時頼ゆかりの「最明寺池」、すべての願いは必ず聞き届けてくれる「秘仏千手観音像」をご本尊とする「満願寺」のコースです。

味どころ、お土産どころは、山本駅周辺がおすすめです。(大庭 弘之)

三、小浜ロケ地コース(表紙参照)

阪急宍布神社駅、駅ビル「ピピアめふ」五階に映画館シネ・ピピアがあり、南に十五分歩くと小浜地区に入ります。江戸時代中期の町屋の佇まいをできるだけ保存しています。旧和田邸、皇大神社、豪徳寺、首地蔵、宝塚市立の小浜宿資料館、小浜工房館等見所多く、大堀川の桜も見事です。

また小浜は宝塚映画製作所にも近かったため、昭和三十年代に映画も多くロケされました。

(野間元 夫佐子)



▲地図と写真でルート説明

四、伊丹おすすめコース

JR・阪急伊丹駅よりバス利用で散策のため、図に停留所を示しました。主な見所としては昆陽池公園、緑ヶ丘公園、瑞が池公園、バラ公園、緑ヶ丘公園、瑞が池公園、バラ公園、昆陽寺があり、また公的施設としては、俳句の柿衛文庫、昆虫館等多彩です。特に緑ヶ丘公園は梅、桜、昆陽池公園は渡り鳥、白鳥、桜、瑞が池公園は四季折々の花。バラ公園は世界各地のバラが植えられています。

なお、伊丹の推薦産物は清酒、南京桃、自然薯です。(桂 彰男)

五、NHK「兵庫史」を歩いて

能勢電鉄多田駅を出発、清和源氏のふるさと多田神社から満願寺、ナイチンゲール像、JR川西駅前の源満仲像まで四時間ほどかかりました。歴史を学ぶには最適なコースです。ただし、この歴史というものは、満願寺の坂田金時のお墓にしても、足柄山の金太郎の実在も根拠が怪しく・・・そこが歴史のおもしろさです。(大西 和子)

六、能勢電にゆられて

山下駅下車、川西郷土館(昭和六十二年十一月開館。入館料三百円)へ。そこから一七三号線に沿って歩くこと三十分、お城のような大阪青山歴史文学博物館(入館料七百元)が見えます。さらに十五分でサイダー発祥の地三ツ矢記念館です。古きを学び新しきを知るの言葉とおりです。(大西 和子)

七、ぶらり三田

地域の魅力ある五つのコースのうち、今回二つを映像で紹介しました。一つは、建築好きの人のための近代建築や現代建築めぐりのコースです。

市内に点在する代表的な建造物を神戸電鉄を利用して、約一日で見て回るコースを設定紹介しました。旧九鬼家(擬洋風住宅)、三田学園図書館(近代建築)、人と自然の博物館、山西福祉記念館「悦」(旧マイカルホール)、センチュリー大橋、神戸三田新阪急ホテル(現代建築)等。

もう一つは「三田牛」をテーマにしたコースです。飼育から精肉までを紹介しました。これからも地域魅力の探求・紹介を続けたいと考えています。

(阿部 弘明)

八、猪名川ふれあい公園めぐり

日生中央駅より「ふれあいバス」を利用しての緑豊かなコースです。彫刻の道のある「伏見池公園」、石仏の点在する「うぐいす公園」、あじさいの美しい「大野山アルプスランド」、「すいせん公園」、「さくら池自然公園」、「なかよし公園」、しだれ桜が咲き乱れる「大原公園」、長いすべり台の「みはらし公園」他、「静思館」「戸隠神社」「八坂神社」「ふるさと館」見所多々です。でも一番のおすすめは親切に道案内してくださる住民とのふれあいです。

(笹部とも子)



▲各地名産品の展示

発表後にいちじくワイン、いちじく茶、宝塚銘菓、パン等各地名産品で試食会を楽しく開催しました。

(第四分野 野間元夫佐子)

阪神北ビジョン委員会総会開催

阪神北地域ビジョン委員会第二回総会が、風薫る五月八日午後一時、伊丹市立産業情報センターで多数の来賓を迎え、ビジョン委員等百余名が出席して開かれました。

始めに、中瀬委員長（兵庫県立大教授）から「他のグループの発表を参考に、また主体性を持って行動し、行政との協働を大切に」とあいさつがありました。次に表具阪神北県民局長が

グループ名(代表者)	ライフスタイル (赤松 弘揮)	専門委員の講評 藤本委員 (兵庫県立大助手) 地域に踏み込み自主的に運営して県コミュニティと連携できている。
高齢者部会 (発表者 田中 美晴 ドリミイ・ユース (安積恵美子)	高年齢者触れあいフォーラム 宝塚市で二回目の開催(関係記事六ページ)次回の開催を計画 他の地域ビジョン委員と世代間交流を計画 青少年スポーツイベント「ドリームスポーツ大会」を開催 音楽・芸術イベントも企画している 不登校問題への取り組み中	金川委員 (福岡工大助教授) コミュニティ活動を活発に行っている。今後はコミュニティに対するサポートを。
健康で安心して暮らせるコミュニティづくり (青樹 英夫)	老人会活性化の推進 川西市多田グリーンハウスをモデル研究 高齢者向けの料理講習会の開催計画 伊丹市を手始めに宝塚市、三田市で実施予定 ふれあい健康スタンプラリーの開催 三田市「ありまふじフェスティバル秋」に参加 ふれあいこんさあとを宝塚市で開催(関係記事六ページ) コミュニティ活動支援 PR用ホームページ開設 四市一町コミュニティフォーラムを開催予定	黒木委員 (阪大助教授) 行政主体の環境マネジメントに参画と協働を目指している。行政、既存団体、他地域ビジョン委員との連携が大事。
三グループ共催 ゴミ問題(地球温暖化も含む) (国山 昌広)	二回の夢会議を宝塚市で開き、ごみ、水、都市景観を話しあった(関係記事五ページ) 四市一町ゴミ処理の実態調査と広報に努めた。 エコカレンダー(環境家計簿)への取り組み エコバスツアー(環境家計簿)の実施 武庫川水系 河川マップの作成 子ども環境会議の開催 不法看板等の実態調査と対策に関する提言 「美しいまちなみ実現フォーラム」開催ほか	沖野委員 (兵庫大講師) 「マップ」の作成は人物・金の流れに効果大
地域経済の活性化 (大西 和子)	夢会議を宝塚市で開催 四市一町の「散策ルート」を紹介(関係記事二ページ) 地域の地元ならではの「散策ルートと名物土産等」の発掘とマップづくりを計画	



▲総会風景



▲軽妙な中瀬先生の講演

中瀬 勲先生のお人柄 肩の張らなかつた勉強会

五月八日、ビジョン委員会総会に引き続き、「第二回勉強会」を開催。講演の前に高木代表から、勉強会設立の趣旨と経過説明がありました。

講師には、ビジョン委員会委員長の中瀬先生にお願いし、総勢八十五人が拝聴しました。先生は、もともと造園、公園、環境などから出発され、兵庫県立大学教授や人と自然の博物館副館長として活躍中です。

はじめに、最近、博物館のような堅いところでも、西日本自然系博物館 ネットワークができたことを話され、ネットワークの大切さから、つなぎ役はボランティアであると言われました。

そして、何故ビジョンが必要かと、公園を例にとつて説明されました。誰も行かない公園ではだめだ。公園に行つて楽しくなければならぬ。それには、行政と業者だけで造るものより、利用者が計画の段階から主体的に参画する。マネジメントもする。そのことが「参画と協働」につながる。

ビジョン委員の役割は中間支援である。他グループに対しやる気にさせたり、違った組織と一緒に活動できるようし向ける。そして、楽しく、成長することの主役を演じる。目標を共有し、成し遂げることが大切。特に、長期のビジョンに関し、プロセスの共有がよいという言葉が印象的でした。行政との関係については、我々がどうつなげるか、一緒にやろうよという態度が必要。と終始型にはまらない表現で時間が短く感じた勉強会となりました。

(勉強会・広報部会長 上田志津香)

二期目に入ってグループ会議が百回開かれていく。このようなコミュニティ活動の積み重ねが、地域をパワーアップさせる」と述べられました。

引き続き、中瀬委員長が議長に就いて、以下の議事が進められました。

まず、阪神北県民局北野参事からビジョン委員会全体の「平成十五年度活動報告と平成十六年度事業計画」が説明され、メインのグループ発表へと進みました。四分野九グループの代表から「これまでの活動と今後の取り組み」が報告されました。(別掲)

この後、上田広報部会長と赤松連絡調整会議代表から、それぞれの活動状況が報告され、以上で予定の議事が終わり、質疑応答に移りました。都市景観等活発な意見が交わされ、今後前向きに臨むことが確認されました。

終わりに、小西顧問(神戸大教授)が「各グループともに熱心に活動している。二年任期では忙しすぎて出られる人が限られるのでは、また県民の地域づくり活動(参画)が行政に反映(協働)されなければ」と結ばれました。

総会は熱気溢れる議論が続く、定刻より十分超過して午後二時四十分無事終了しました。(広報部会 田中 實)

トップと語る

宝塚市 渡部 完 市長



渡部宝塚市長

「トップと語る」シリーズ第

二回として、四月二十二日、広報部会のメンバ

ーが揃って、宝塚市役所の渡部市長をお訪ねし、懇談会に臨みました。事前に、●力を入れておられる施策●市民の参画と協働●市域を超えた活動●環境問題 などにお話しいただければとお願いしておりましたので、まずはじめにお答えいただく形で述べられ、あと、私たちの質問を交え、率直なお話をきくことができました。

市長が、お話のなかで終始一貫、市民と市とのパートナーシップ、参画と協働を最重要視しておられたことには



▲宝塚市長と懇談中

強い印象をもちました。

◆安全・安心のまちづくり

刑法犯罪が増加している今日、対策として昨年七月、市に「防災防犯課」を設け、公用車「アトム」一〇番連絡車を市内に走らせるなど、地域防犯体制の確立をめざしています。公共の場の夜間花火他迷惑行為を規制する条例も提案します。また、救急車は昨年出動が七三〇件にも及び、さらに救急隊を四隊から五隊に増やします。最も緊急の課題として、市民が安心して暮らせる生活の基盤作りを努めています。

◆環境問題

平成十四年十二月、宝塚市は環境マネジメント国際規格・ISO14001の認証を得て、紙、電気、水等の使用の削減や資源のリサイクルを進めています。

また、不法看板除去の市民ボランティア活動は、他市町に先駆けて活発に行われ、美しい宝塚をめざしています。

◆活力ある宝塚市のコミュニティ活動

二月に「まちづくり総合フォーラム」を開催、まちづくり協議会と自治会連合会とが連携し、二十年の歴史をふまえ、地域のまちづくり計画が力強く進められています。

◆「都市再生」

産学官の連携活動として、「都市再生モデル調査」に取り組み、関西学院大学と共同で、「タカラヅカ学」講座を開

講し、市民の皆さんとともに、まち全体の再生へと広がっていきます。

◆公共施設の共同利用

スポーツセンター、図書館など、行政の垣根を超えて利用できるようになりました。

◆スローライフの推進

阪神北景民局と連携し、「ゆっくり・ゆったり・ゆたかに」を理念とし、「花とあこがれ」をテーマに、スローライフ運動を推進しています。

◆「次世代育成」

未来を築く子どもたちの育成には、力をいれています。市民を交えた学校改革審議会では、二学期制、学校選択制など幅広く、研究検討を進めています。

流れを変える、厳しい時期、前例なき時代に、果敢にチャレンジしておられる、若さあふれる市長の力強いお話は、私たちビジョン委員に感動を与えていただきました。使命の重さをひとお感じさせていただいた一日でした。

(広報部会副部会長 早川 安夫)



▲木接太夫彰徳碑 (山本)

わがまち宝塚の紹介

宝塚は、今年市制五十周年を迎え、新しいキャッチフレーズ「誇れるまちに新たな一歩宝塚」により、美しく安心できる住みよいまち宝塚を築くため、将来に向けて力強い第一歩を踏みだそうとする思いが込められています。

宝塚を世界に広めた「宝塚歌劇」も宝塚少女歌劇として第一回公演以来、今年九十周年を迎えました。

新しいまちづくりの礎は、過去の歴史の上に成り立っています。

今回は、宝塚山本地区の園芸、植木と巡礼街道を紹介します。

山本地区の園芸、植木の歴史は古く、鎌倉時代には既に社会的地位を得ていました。桃山時代に山本の地で、我が国園芸史上画期的な「接ぎ木」という技術が開発され、実用化されました。

坂上善太夫頼泰が接ぎ木の技術に長じていたことから、豊臣秀吉から「木接太夫」の称号を受けたとされ、このことを顕彰して大正二年に「木接太夫彰徳碑」が建てられました。これは、日本三大植木産地として著名な山本のシンボルとなっています。

阪急山本駅の北側には、平安時代に創設されたといわれる観音霊場めぐりの道として、箕面の勝尾寺から中山寺を過ぎ、社町の清水寺へ向かう「巡礼街道」が整備されており、主ナルイトは山本を基点とし、「木接太夫彰徳碑」、「松尾神社」、聖徳太子が建立したと伝えられる安産の観音様「中山寺」や「売布神社」を経て、荒神さんの名で親しまれているかまどの神様「清荒神清澄寺」まで各社寺に多くの参拝者が訪れています。

一度巡礼街道を訪ねてください。

(広報部会書記 岸本 英紀)

都市環境を考えるフォーラム

《都市景観と屋外広告》

第三分野 夢会議

平成十六年三月二十七日、「第三分野夢会議（都市景観と屋外広告）」が、宝塚商工会議所で開催されました。阪神北県民局石田副局長をはじめ、ビジョン委員等で会場は熱気に包まれました。

◆基調講演 講師 岩井 珠恵

兵庫県景観形成審議会 各委員他
兵庫県広告物審議会

「地域の景観形成と広告物」

景観とは人間をとりまく環境の眺めのこと、考える視点としては、①環境全体②場をつくる③地域性④場全体のコンセプトが必要です。屋外広告については、(1)目的（広告内容のしゃべり過ぎ）(2)空間でのあり方（おさまり）(3)表現とその方法（地域文化、自然、日本の美しさ）が重要です。その他、スライド写真を映し、看板の歴史、その意義、のれんやのほりなど、興味深なお話でした。



兵庫県出石町でみつけた絵看板「ろうそく屋」
絵看板は絵による表現で非識字者にも理解でき、江戸期に発達し近代まで盛んに用いられた。

◆第三分野各グループ

活動報告・意見交換

①都市景観問題グループ

(芹原代表)

はじめに、「不法看板等の実態と対策について」の提言案が配られ、説明がありました。その内容は、(1)行政の一元化(2)宝塚市の市民ボランティア活動をモデルに他の市町にも拡大(3)地域住民組織の協力体制があげられました。グループの今後の実施事項としては①関係機関、団体への協力要請②「美しいまちなみの実現」フォーラムを今秋開催、同時に不法看板除去運動を展開する③平成十七年度より、「わがまち」は不法看板を一掃します(案)を宣言する④阪神北地域環境会議(連絡会議)を立ちあげる等があげられました。これら重要な施策が総合的にとりあげられたことは、意義深いことです。終りに、どうしても「いたちごっこ」戦いにならないこと、また、気にする。絶対に許さないとの強い考えが必要であると、会場では再認識されました。

②ゴミ問題(地球温暖化も含む)グループ

(国山代表)

ゴミ袋の有料化は、県内の六割以上の市町がすでに実施。三田市は有料、



▲不法広告物をはがすボランティア活動



▲熱気あふれる夢会議

宝塚、西脇、高砂、龍野各市が検討中です(神戸新聞記事より)。また、宝塚市は、環境家計簿推進運動「エコカレンダー」を配布し、普及啓発に取り組んでいます。消費者協会、地域温暖化防止活動センター等と提携、協力します。

③水問題グループ(河端代表)

昨年十一月、エコバスで武庫川の現状を視察、武庫川上流センター、青野ダムと魚道、県立有馬富士公園など、武庫川のいまについて、認識を深めました。あと、宝塚商工会議所で、第

三分野夢会議を開催、各グループの報告と討議が行われました。都市景観問題グループでは、まず市町別違法広告物の現状把握について、水の問題グループは、河川マップ作り、子ども環境会議開催への取り組みの報告があり、ついで、ごみ問題グループは、四市一町のゴミ処理の調査を行うことになりました。

◆意見交換

とくに、不法広告問題について、行政の一本化の要請とともに、第三分野全体の総意として、ゴミ問題を含めて取り上げたい。また、地球温暖化防止の観点から、環境家計簿など身近な生活レベルで、環境活動を積み重ねることが重要と、意見が出されました。

(第三分野 芹原 孝行)

回身近な川の水辺情報を

ください(河川マップ作り)
広く市民の皆さんに川に親しんでもらう機会を提供しようと、大人も子どもも楽しめる水辺空間スポット情報を、マップに写真も添えて記載し、みんなの愛する川情報の冊子をつくる予定です。武庫川、猪名川、各支流の河川マップ作り、委員が手分けして水辺情報をあつめています。「川をみながらゆっくり休める所」「ここは安全な水遊び場」「鳥たち、生きものの観察ができる」など、水辺スポットの情報をお知らせください。

(現在調査事例)

- ◆武庫川：宝塚市役所前イベント広場
- ◆大堀川：宝塚チボリ付近緑地
- ◆荒神川：武庫川合流点付近の緑地
- ◆木広中央公園

(第三分野 白井 儀)

高齢者ふれあい フォーラムの開催報告

テーマ…21世紀の第二の人生を語ろう
と き…平成十六年二月二十二日(日)
ところ…宝塚市立東公民館
参加者…八十人

私たちビジョン委員(第一分野高齢者部会)は高齢者のあるべき姿を模索し、先に「高齢者の主張・提案」を募集し、次いでこれらの提案・主張を発表していただく場の提供と高齢者がともに話し合う「高齢者フォーラム」を開催しました。

基調講演 「高齢者の健康と生きがい」

藤井義正氏、広島県出身。放送大学長、阪神シニアカレッジ副学長等を歴任し兵庫県とのつながりが多く、私自身強く思うことは兵庫県が好きだ。とおっしゃり、放送大学での番組作りに於いて感じたことは「高齢者は生きていく実感を持っていない。存在感がない」ことである。これらを持つことが大事で、これにより生きがいが生まれる。そのためには、周囲の人々が日常の些細なことでも誉めることが大切である。また、関心を持たれていることが生きがいを実感するものである。

一方、高齢者は周囲に対して常に感謝の気持ちを忘れてはならない。

高齢者の主張・提案発表

私の生きがいと実践野行 伊東正雄 伊丹
私の生きがい 瀬川忠泰 伊丹
高齢社会に対する60歳の挑戦 竹島良樹 宝塚
私の見る白昼夢 中西正儀 三田

◇パネルディスカッション(テーマ)
高齢者はこう考える

先の四氏の主張提案発表の中から、問題点を掲げていただき、ご自分の見

解を述べていただいた。会場からも質問が出され、時間を忘れるぐらいに盛況裡に終了しました。

コーディネーター藤井義正氏のコメント。まとめに代えてと題して

人間関係の中に 喜びがあり

その喜びの中から

明日を生きるエネルギーが湧いてくる

人間関係の中に 安らぎがあり

その安らぎの中で

人としての成長が生まれる

人間関係とは、まず与えること

人から優しい言葉が欲しいとき

まず自分から優しい言葉を与えること

人間関係とは、まず自分が微笑むこと

こちらが微笑むとき

むこうも微笑みを返してくれる

人間関係とは

自分が光ることではない

相手が光るのをしっかりと受けとめ

鏡のように映し返すこと

人間関係のことを考えていると

しみじみ

おかげさまの意味が分かってくる

周囲の人みんなが

観音さまだということが

分かってくる

長い人生を振り返るとき

私たちはたくさんの人から

たくさんの温かいものを

いただいていた

だからこんどは周りの人に

出来るだけ優しい言葉を送ろう

温かい微笑みを送ろう

(高齢者部会代表 堀 信義)

ふれあいこんさあと♪



▲楽しく明るく大合唱!!

三月二十日「音楽でつながる温かい地域コミュニティの輪」をテーマとして、宝塚西公民館で「ふれあいこんさあと♪」を開催しました。前日の春の陽気なお天気もどこへやら、朝から空は今にも泣き出しそうです。とうとう開場前から雨が…足元の悪い中を駆けつけて下さった方々ありがとうございました。幕が開くと一五〇席の会場も埋めつくされていきました。



▲元気な子どもたちの歌声



▲若者のバンド演奏

グループの方々が美しい歌声を披露して下さいました。参加者は老若男女、曲目も童謡、流行歌、ジャズ、ポプス、夢のあるうた、震災をきっかけにした歌など豊富でした。歌う方、指揮者、伴奏者、そして目を閉じ口ずさんだり、身体のかかでのリズムをとっている観客の方々、みんな音楽を共有されていました。

最後に会場一体となつての「イツア・スモールワールドより小さな世界」の大合唱です。幕を閉じ会場を出られる人たちの「楽しかった」「来年も再会したい」と口々に言われたことと、皆さんのさわやかな笑顔がとても印象的でした。

舞台そでの私たち委員にも「舞台上に立てたことがうれしかったです。こんな機会をありがとうございます。」とお礼のことばもいただきました。

音楽を通じ地域を越えてひとつになつたような気がします。出演者の皆さまには、早朝よりのリハーサルから参加していただきありがとうございます。帰途につく頃の空はすみきって晴れていました。皆さまの勇気の出る歌声がきつと空に届いたのでしょね。

(第一分野コミュニティ第二グループ 和泉 初美)

地域でもこんな活動をしています

ファミリースクール 「ヴァインテージ」

宝塚市の社会教育課から発案されたファミリースクールというボランティアに参加しています。「ヴァインテージ」と名前を付けて十数名のグループです。

私たちのグループはもともと御殿山中学校のPTAのメンバーで、成長する中高生の子どもの問題と直接見たり聞いたりする中で生まれたところから、特に中高生の環境作り、居場所作りを考えるグループです。

昨年は、青少年の問題で経験豊富な学校の先生を経て、不登校の子どものために通信制の学校を作られた喜田三津雄先生の講演や、阪神北地域ビジョン委員とNPOのグループとともに今までにないスポーツイベントを企画し、テニスやサッカーのプロコーチに参加していただき、中高生連や保護者からも「こんなスポーツイベントをして欲しかった」と言葉をいただくことができました。



またその反響から、自ら私たちの活動に賛同して子どもたちにメッセージを送りたいと、トークショーを申し出てくれたNBAを目指すプロバスケットプレイヤー森下雄一郎さんと一緒にできたり、思わぬ展開にも驚いています。

今後、忙しい主婦が中心で、継続

して活動をしていくことが困難な状況にもあるのですが、できる範囲で活動をしていこうと思っています。

是非ビジョン委員の皆さんや多くの有志の方で、本当の意味での青少年の問題を考えて行くことが出来たら素敵だと思っています。

(第一分野 安積恵美子)

明るく、楽しく「健康」創り 「ほほえみ会」

過労からどこも動かぬ大病を患い、死ぬことばかりを考え今で云う「ウツ」に。縁あって東洋医学の研究と実践により元気をとり戻し、請われて始めた心と身体両面の健康創りの会「ほほえみ会」が今年二十五周年を迎えました。



「いつでもどこでもどなたでも」元気な時も悩みや病もある時も、雨の日も晴れの日も、やる気を起こし気軽に「ここにエクササイズ」と「陽転思考法」。

超高齢化社会、痴呆や寝たきりを予防し、医療費、介護費節減のため、「自分の健康は自分で守り創る」という意識革命に取り組んでいるところです。

週一回の定期レッスンの他、あちこちから舞いこむ講演依頼に東奔西走中。「心身の不調な人」「元気に長生きP・P・Kしたい人」一度のぞいてみて下さい。

五月十六日(日)宝塚ホテルで二十五周年記念祝賀会を開催しました。

(第二分野 小山 一子)

宝塚市まちづくり協議会 「ゆずり葉」コミュニティの活動

宝塚市全域には、小学校区単位のコミュニティが二十あります。私たちの「ゆずり葉コミュニティ」は、四千世帯、人口一万人の住む逆瀬台小学校区をエリアとして、設立十年目を迎えました。まつり、森遊び(プレイパーク)、ハイキング、講演会など、年間、大小あわせて一〇〇近くの交流事業を行ってきましたが、あくまで第一ステップであり、環境、福祉、健康、防災、防犯、青少年育成、子育てなど、多くの課題の解決をはからねばなりません。

第四次宝塚市総合計画のまちづくり地域別計画に沿って、平成十年頃から地区内の(1)現状と課題(2)将来イメージ(3)地域づくりの基本方針(4)実現のための意見、提案について、プラン・ドゥ・チェック・フォローを行い、そのために、必ず毎月、ブロック会議、三役会、役員会を開催しています。

全住民の自律と参画を促すために、情報の受信発信の双方向が重要で、広報紙、ホームページなどの広報活動にも力を入れています。地方自治、地方分権が進みつつある今日、市民の合意で策定された「まちづくり地域計画」の実現にむけ、行政からコミュニティへ、権限と財源が移譲され、市民自治によるコミュニティづくりの体制強化が大切と考えています。

(第二分野 中村 一雄)



▲波部宝塚市長へ「まちづくり地域計画」提案書を提出

「地域ふれあいの会」 地域活動をめぐって

宝塚市は住みよいまち、犯罪のないまちを目指しています。

私たちは「地域ふれあいの会」を交番所単位で組織して、防犯に努めています。月二回夜間八時から警察官同伴で小浜交番の管内を巡回します。管轄範囲が広いので、三地区に分けて一日一地区を回ると二時間を要します。この時間ですと冬は人通りも少なく、特に人家のない道路は女性の一人歩きが危険なので、このような所を重点的に見回ります。また、夏場は若者が道端にたむろし、不審な行動も見受けられますので、早く帰宅するよう声を掛けています。女性にはひたたくり等に注意するようバッグの持ち方を助言し、駅前でひたたくりに対する注意書きを配布するなど被害が発生しないよう呼びかけています。

「地域ふれあいの会」は、宝塚市内の安全、安心を願う住民と交番の勤務員が一体となり、地域社会との良好な関係を保ちつつ、自主的な活動を進めて、各種事件の未然防止を図り、住みよい町を創ることを目的とした会です。ビジョン委員会の諸活動も地域の安全と安心が守られてこそ推進できるのではないのでしょうか。

(第四分野 福岡 節生)



▲駅前であらし配布

阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム開催

井戸知事出席のもと、ビジョン委員会のこれまでの取り組みを振り返ります。

日時 平成16年6月13日(日) 9:45~12:00

場所 いたみホール(伊丹市立文化会館)

テーマ 阪神北地域のビジョン実現に向けて

～ビジョン策定・推進の取り組みを振り返る～

新しい試み ポスターセッションで

10グループが、活動をパネルにしてPRします。
みなさんの声をお聞きかせください。
みなさんのご出席をお願いします。

さわやかステージ出演：コーロ・あまでゆうす(伊丹市)

◆申し込み・お問い合わせ

兵庫県阪神北県民局地域ビジョン担当

TEL 0797-83-3117・3119

ライフスタイルの活動から

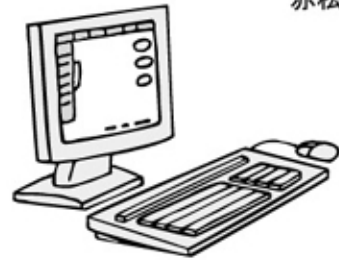
ライフスタイルグループでは、パソコンに関するアンケートを、自治会やコミュニティ組織に対して回収していました。市によって回収できないところもあり、現在、集計できていません。

ライフスタイルの中で、高齢者がパソコンを使えるようになれば、自治会等をつなげるのではと、パソコン教室開催のため、古い機種を業者等に提供してもらうことを呼びかけています。

或る自治会では、自治会内から4台も寄付があり、明るい方向に向いているところです。

第1分野ライフスタイルグループ代表

赤松 弘揮



各市町の皆さんにオブザーバーとしてご協力いただいています。

伊丹市	松井 博	企画財政部企画調整室主幹
宝塚市	橘 敬蔵	企画財務部政策室企画調整課長
川西市	本庄 重弘	企画財政部政策室主幹・政策担当
三田市	長田 武彦	市長公室都市経営推進課長
猪名川町	宮 藤 修	企画部企画政策課長

各活動グループでは、阪神北県民局の担当者の皆さんと協働して活動を進めています。

- ライフスタイル……岡崎まゆみ 県民担当参事、中村雅彦 県民生活部主幹
- 高齢者部会……中村雅彦 県民生活部主幹、岡崎まゆみ 県民担当参事
- ドリーミー・ユース…北野信雄 企画調整担当参事、杉浦聡 地域ビジョン担当課長
- 健康で安心して暮らせるコミュニティづくり…田村博志 県民生活部主幹、西尾孝 伊丹健康福祉事務所主幹
- コミュニティ第二……山根克己 宝塚健康福祉事務所主幹、田村博志 県民生活部主幹
- ゴミ問題……小堀豊 環境担当参事、岸田宣久 環境課長
- 水問題……西村正二美 河川対策室長、平松謙介 県土整備部主幹
- 都市景観問題……川本修 まちづくり担当参事、齋藤昌之 まちづくり課長
- 地域経済の活性化……川口悟 産業労働担当参事、石沢隆二 地域振興部主幹、澤田次男 宝塚農業改良普及センター所長

パネルキャラバンで ビジョン委員活動をPR

ライフスタイルグループの発表により、パネルキャラバンでビジョン委員の活動をPRすることになりました。これは、五月十一日の連絡調整会議で決まったことで、各グループに二、三組のパネルを配布し、それに、それぞれの活動報告を作成します。各グループでは、常に二、三組のパネルを用意し、夢会議やグループ活動の場においても展示して、ビジョン委員とはどんな活動をしているかが周知できるようにと考えられたものです。まずは、六月十三日の夢会議で、各グループのパネルがずらりと並び、その成果が期待されることでしょう。(連絡調整会議代表 赤松 弘揮)

訃報

大変残念なお知らせですが、田上精二郎委員が、平成十六年五月八日朝、ビジョン委員会総会に向かわれようとしていた矢先、突然逝去されました。享年七十六歳。

田上委員は「高齢者ふれあいフォーラム」の開催をはじめ、「高齢者部会」の活動を、グループ代表としてリードされました。同氏の熱意、意志を受け継ぎ、活動の一層の発展をお誓いし、ここに追悼の意を表します。(高齢者部会 田中 美晴)

お詫び・訂正
前号(第二号)七頁記載の「自主上映グループ(すみれ座)」の内容に間違いがありましたので、お詫びし、次の通り訂正いたします。
「鳥取県大田市」を「島根県大田市」以上

編集後記

阪神北地域ビジョン委員会の広報誌「夢じゃーなる」は、第三号を迎えました。ビジョン委員のみなさんも第二回総会がおわり、一年目を迎えた新たな気持ちで活動されていることと思います。日頃の活動をご紹介できる「夢じゃーなる」です。みなさんの活動状況を是非広報部までお寄せください。お待ちしております。(岸本英紀)